

令和元年度 札幌工科専門学校自己評価結果

学校自己評価について

- 1 学校自己評価は、本校教育経営マネジメントの一環として、1年間の教育活動、校務運営について評価を行い、反省点と課題を明らかにし、次年度の計画、改善に生かすことを目的とする。
- 2 評価は、教職員が各項目について、担当者として及び全校的な視点から行うものとする。
- 3 5段階で評価を行うものとする。
- 4 所見欄には、評価について補完を要することや次年度にむけての課題や改善策等についての意見を記入する。
- 5 **令和 2年 1月 30日 (木) までに岩瀬へ提出すること。**

2. 評価基準

5	4	3.0	2	1
良	やや良	普通	やや不十分	不十分

3. 評価項目及び評価

所見欄には今年度の活動において、特記を要する事項の記載をお願いします。
所見欄中の、※は項目の補足説明となります。

I 教育理念・目標

項目	H30評価	R01評価 平均	R01評価 最大	R01評価 最低	所見
①教育目標は、学生・学校の実態に即し、本校の目指す目標として適切であったか	3.7	3.7	4.5	2	※本校の教育目標は、学生の実態に適合していますか。定期試験は年4回、出席時数80%以上適切であった。概ね、目標を達成している。学校の目標としては実態に適合していると考え。学校の教育目標には「環境を重視した…」とあるが、環境とは何の環境かこの文章からは判断できない。理想論的ではある。理想としては適していると考え。
②学校教育目標は、学生に周知され、学生生活を送る上での指針となっていたか	3.5	3.3	4	2	※学生にとって教育目標が学生生活の指針となっていますか。資格目標については周知されている。いまだ不十分な所が見られる。十分理解されていないと考える。周知と理解は別。掲げているが常時意識されているとは思わない。
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	3.5	3.5	5	2	※将来予測される業界のニーズを踏まえた教育目標ですか。就職内定100%資格取得、厳しさ（人間形成）。社会ニーズを踏まえて、定員の増減をしたり、カリキュラムの変更を検討している。ニーズを踏まえた目標になっていると考えるが入学希望者にあまり伝わっていないのではないかと。
④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.3	3.2	5	2	※学生や保護者に教育目標の意味を伝え、理解させていますか。公務員合格者多数 2級土木施工管理技術検定合格者多数周知されている。少なくとも入学時、体験入学等で周知させている。保護者への理解協力体制の強化が求められる。周知と理解は別。ニーズを踏まえた目標になっていると考えるが入学希望者にあまり伝わっていないのではないかと。
平均	3.5	3.4			

II 学校運営

項目	H30評価	R01評価 平均	R01評価 最大	R01評価 最低	所見
①本校の経営方針について共通理解が図られ、日々の教育活動に反映されていたか。	3.1	2.9	5	1	※経営方針:教育目標を実現するために、経営者が教員に示した指針。共通理解についてはまだ不十分な所もある。年末提出した自己申告書を全教員まとめて判断してほしい。経営方針を明確に示したので、教育活動に反映されている。社会のニーズと経営方針が今一つ不明瞭であり徹底されていないように思える。校長からの経営方針がない。この自己評価・学校評価委員会等の反省事項を受け、年度当初に校長から「今年度の経営方針」として示さなければならない。
②学校運営は協働体制のもと、円滑に進められたか	2.5	2.8	4	2	昨年よりもよくなってきている。いまだに不十分であるが、以前よりは改善している。概ね進められていると思える。組織の再編成が求められる。互いの都合を掌握していない。
③学校行事は的確な計画・内容のもと、円滑に進められたか	2.8	3.3	5	2	円滑に進めたつもりである。偏りはあったが、内容的には遂行されている。概ね進められていると思える。時間数合わせに終始。

④人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.1	3.4	5	2	※規定等:ESの就業規則に準じます。(かたりすと文書管理に社内公開) 就業規則については拝見している。学校として文書管理規定を見直す必要がある。
⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.2	3.2	4	2	※発議から審議、決定までの流れが明確で、組織として認知されていますか。 整備されている。不十分な所がある。まだスムーズには至っていないが多少なりとも改善されている。円滑な意思決定システムが確立されていると思えない。
⑥業界や地域社会等に対する法令を遵守する体制が整備されているか	3.6	3.9	5	3	整備されている。法令を遵守する体制となっていると思える。
⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.6	3.9	5	3	本校のHP上で情報公開されている。適切に処理されていると思える。ガイドラインに則りHPで公開している。
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.4	3.3	5	2	昨年より効率よくなってきている。様々な点で効率化が図られていると思える。成績管理等に、まだ、より効率的な業務運営を進められる余地がある。情報が共有されていない。PC内の整理が必要。
平均	3.2	3.3			

III 教育活動

項目	H30評価	R01評価平均	R01評価最大	R01評価最低	所見
①教育課程(方針・内容)は、本校の教育理念・教育目標を適切に反映されたものであったか	3.6	3.8	5	2	※教育課程(カリキュラム)は教育目標を達成させる内容ですか。 本年度までのカリキュラムは社会が求める最高の組み方であった。反映されている。適切に反映されていると思える。次年度より、同一科目は極力統合して授業を行うよう整理されたすると教育理念にある「少人数制による…」とは相反する授業体制になる。教育理念の見直しも必要かと思われる。
②今年度の教育課程編成は、適切・効果的であったか	3.2	3.1	4	2	※教育課程編成:教育課程を動かすために必要な人や教材等を編成すること。 効果的であった。まだ、不十分なことはみられるが、改善されている。カリキュラムのボリュームとに人員・日数・制約などが見合ってなく効果を優先して編成できなかったがその中でベターを目指した。
③教科科目の学年配置や時数の配分は適切であったか	3.2	3.1	4	2	※カリキュラムにおける単位の配分は適切ですか。 適切である。適切であった。科目数が多いのですべて適切ではない。授業間隔が空きすぎる教科があった。夏期演習に使用する教科書の検討が必要。
④シラバスの内容や使用教材は適切であったか	3.5	3.8	5	3	授業間隔が空きすぎる教科があった。ガイドラインに合わせ少し編成する必要がある。適切である。
⑤授業はシラバスどおりに進めることができたか	4.1	3.6	5	2	概ね進めることができた。8~9割の完成度。概ねできた。ある教科でシラバス通りに授業を進めていないことが資格試験前に判明した。学生に混乱が見られた。
⑥少人数制教育による指導の成果が発揮されていたか	3.3	3.1	4	2	一度に40人に近い合同授業は少人数とは言えない。教員の増員が必要である。概ね指導成果はあったと思う。合同の教科によっては指導の成果が発揮できていない。
⑦学生の理解度に合わせ、「よく分かる授業」の推進に努めたか	3.3	3.5	4	2	努めてはいるが中々難しい面もある。学生がいかにやる気を出させるかが課題である。過去問を利用し理解向上に努めた。努めているが、なかなか難しい面もある。学生がいかにやる気を出させるかが課題である。学生間に理解度の差があるため理解度の高い学生には不満足があったかもしれない。合同教科によって一方的な内容になる場合もある。
⑧成績不振者への対応は適切に行われていたか	3.4	3.3	4	2	対応はしたが最終的には学生自身の資質の問題である。特試を出したので、不十分であった。良く指導はしているが学生の勉強に取組む姿勢が欠けているため満足なものとなっていない。補講を実施していた。
⑨学生による授業評価を学習指導の改善に役立てることができたか	2.9	3.0	4	2	※学生による授業評価:今年度より、前後期に実施しております。一部改善に役立てた。できるところは改善している。評価が反映されていないので解らない。時間不足。
⑩教科科目の評価・評定は適切に行われたか	3.6	3.7	5	3	※評価はシラバスに示した基準により算出していますか。 適切に行った。適切に行った。

⑪定期考査・追考査の実施(時期・時間等)は適切であったか	3.5	3.7	5	2	適切であった。適切に行った。検定スケジュールと合わず、時間割が無茶苦茶。9月に前期期末試験を実施したが、夏休みで中断されるので流れが悪く学生指導が難しそうだった。
⑫資格取得指導は適切・効果的に進められたか	3.6	3.8	5	2	少ない教員で適切効果的に進めた。大略的には資格取得の指導は適切であった。適切効果的に進めることができた。 検定スケジュールと合わず、時間割が無茶苦茶。
⑬現場見学・インターンシップ(企業実習)は適切・効果的に進められたか	3.9	3.9	5	3	学生の資質・企業のインターンシップの体制に大きく差が出た。適切効果的に進めることができた。
⑭学生へのマナー指導や社会性を身に付けさせる指導は適切に行われ、満足する状況にあるか	2.6	2.8	4	2	企業委託生の中でマナー不足社会性の欠けるものがあった。まだマナー違反をしている学生はいるものの、多くの学生は守っている。常に指導を心掛けている。さらに徹底して行うべきと考える。実習などで社会人の多い測量科の学生と比較すると、自覚の不足が目立つ。時間不足。
⑮学生個々の理解に努め、適切な指導が行われていたか	3	3.4	4	3	※指導:学習指導、生活指導、進路指導 中途退学、休学については十分すぎるほど本人、父母と話し合った。まだ、不十分な所はある。適切に行ったと考える。常に指導を心掛けている。さらに徹底して行うべきと考える。
⑯体育大会、学園祭等は学生主体のもとその目的を達成できたか	3.5	3.9	5	3	※目的:体=体力向上と親睦。祭=学習の成果を発表し親睦・連帯を図る。 ほぼ目的を達成できた。学生自身の自覚が希薄になっている。
⑰関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.6	3.5	4.5	3	※関連業界との連携により得た見識を、教育課程に反映していますか。 企業より専門教科についてはセミナー派遣授業を実施した。改善すべきところは改善している。常に検討が行われていると思う。
⑱職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.5	3.8	4.5	3	※学校評価・教育課程編成委員会からの意見を教育活動に生かしていますか。 外部関係者からの声を現在改善できる部分については評価に取り入れた。すべてではないが、できるところから改善している。取り入れていると思う。
⑲人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.7	2.5	4	2	※将来、学校の中核を担う若手教員を確保し、その育成に努めていますか。 新人教員の確保が出来ていない。若手教員の募集を掛けているが、今のところ確保はできていない。人材確保が難しい時代でもあり先手先手で進める必要があると思う。学校運営における最重要事項。危機感を持ち継続努力を願いたい。測量専門養成施設として将来に不安がある。測地、測図分野各1名を含む3名の専任教員(主任専任教員を含む)の確保育成が急務。
⑳関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.1	2.8	5	1.5	測量養成施設の専任教員の育成が全くできていない。希望があれば研修に参加している。資質向上のための研修は行われていると考える。授業改善のための意識改革となる研修が不足。研修や講演会に出席しているが、(授業のため)参加者に偏りがある。
平均	3.4	3.4			

IV 学修成果

項目	H30評価	R01評価 平均	R01評価 最大	R01評価 最低	所見
①教育目標の達成度 (1)基礎学力の向上	3.8	3.4	4	2	一部の学生以外は習得している。不合格者を多く抱えている科目があるのでいまだ不完全である。概ね達成できた。学習習慣が未養成。目的意識が希薄。
②教育目標の達成度 (2)専門の基礎知識・技術の習得	3.5	3.8	5	2	達成できた。概ね達成できた。学習習慣が未養成。目的意識が希薄。
③教育目標の達成度 (3)社会人になるためのマナーと教養を身につける	2.8	3.0	4	1	一部の学生を除き身に付けている。概ね達成できた。過密カリキュラムのため養成できず。
④進学率や就職率の向上が図られているか	3.7	4.0	5	3	概ね図られた。就職率は100%である。進学希望は少ない。図られたと思う。

⑤資格取得率の向上が図られているか	3.5	4.0	5	2	図られたと思う。意欲を引き出せず。
⑥退学率の低減が図られているか	3.1	3.1	4	2	退学率を減らすことができるが0%にすることはできない。不十分である。粘り強い教育が大切である。学生の資質にも関係するのである程度やむを得ないのではないかと思う。
⑦卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.2	3.1	4	2	情報はできるだけ収集している。あまり積極的に把握していない。
⑧卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.1	3.1	5	2	※卒業生より本校の学習内容は如何にあるべきかという要望を聞き入れ、改善に役立てていますか。就職ガイダンスに参加しているOBには話を聞いている（開発局、同、旭川市）。教育活動の改善に活用していると思う。
平均	3.3	3.4			

V 学生支援

項目	H30評価	R01評価 平均	R01評価 最大	R01評価 最低	所見
①進路指導は学生のニーズ・適性等に即し、適切に進められたか	3.8	3.9	5	3	適切に進められた。適切であった。適切に進められていると思う。
②保護者との連携は密接・効果的に行われていたか	3.5	3.8	5	2	効果的に行ったが、個々の学生次第である。常に連携していると思う。
③基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	3.1	3.3	4	3	日々HRで問題があるか確認している。ホームルームにおいて生活指導を行っている。徹底した取り組みが必要である。
④学生の安全管理のための取組等が行われているか	3.3	3.4	5	3	※安全管理:学生を事件・事故から守る手立てを事前に行うこと。日々HRで指導している。危機管理マニュアルを作成し行っている。取り組んでいると思える。
⑤学生・保護者からの相談体制が整備されているか	3.7	3.8	5	2	整備されている。基本的に学科長、担当が行っている。それぞれのクラス担当が対応している。
⑥進学・就職指導に係る支援体制は整備されているか	3.8	3.9	5	3	整備されている。公務員試験へのサポート、就職指導、求人に対しても適切に行っている。学生への指導アドバイスは常に行っている。
⑦学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.1	3.9	5	3	奨学金制度も十分整備されている。本学独自の給付型奨学金の認可など。様々な支援制度がありよいのではないかと。国の支援制度の対象校に認定された。
⑧学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	3.5	3.5	5	2	全学生に毎年健康診断を実施している。校医を中心に健康管理を行っている。整備されていると思う。校医が非常駐。保健室も無い。
⑨課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.8	2.6	3	2	ボランティア活動は整備されていない。教育に関するものであれば支援していると思える。課外活動の定義、評価のスケールがない。
⑩学生の生活環境への支援は行われているか	2.8	2.6	3	2	問題があれば対応している。必要がある場合を除き、プライベートに関する指導はまれであると思う。メンタル面のサポートがない。
⑪卒業生への支援体制はあるか	2.9	2.9	4	2	卒業生から相談があればその都度対応している。卒業生からのコンタクトがあれば積極的に支援指導している。
⑫社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.9	2.8	5	1	※本校の教育力を一般の方に提供する環境は整備されていますか。北海道職員研修を受け入れている。概ね整備されていると思う。社会人と学生持ち上がりのカリキュラムはわかるべきでは？ 道職員の研修。
平均	3.4	3.4			

VI 教育環境

項目	H30評価	R01評価 平均	R01評価 最大	R01評価 最低	所見
①教室・実験室等の規模や配置は適切であったか	3	2.8	4	2	まずまず対応できた。概ね整備された配置となっていると思う。実験室のスペースは人数増に対応できていない。工夫が必要である。
②校舎内外の施設設備の充実、維持管理は適切であったか	3.2	3.1	5	2	維持管理は適切であった。教員全体で校舎内外の施設設備の点検を行い、不備があれば改善している。概ね適切であると考ええる。
③実験実習設備、機械類の整備・活用は適切であったか	3.3	3.4	4.5	2	測量実習機器についてはほぼ整備一部写真測量については検討が必要。測量機器についてはかなり整備されている。実験設備については気づいたところから整備している。授業に見合った環境が整備されていると思う。
④蔵書を含めて図書閲覧のニーズに応えられていたか	3.1	3.1	4	2	インターネットの普及により学生が図書を読んで調べる機会が少なくなっている。蔵書数も増え十分でないが答えられていると思う。内容が古いものが多い、活用の工夫がない。図書の整理が必要。
⑤情報機器の充実及び活用状況は適切であったか	3.4	3.4	5	2	ノートパソコンの整備によって情報処理室の使用の混乱は回避された。整備の充実が図られており適切と考ええる。ノートパソコンに使用制限がある。
⑥校舎は衛生的（清掃・美化）に管理されていたか	3.3	3.3	5	2	毎年校内は教員も加わり清掃している。第一校舎の外壁塗装が必要である（21年経過）。概ね適正に管理されていると考ええる。先生方の負荷が大きい。
⑦防災に対する体制は整備されているか	2.5	3.6	5	2	防火訓練実施 校内整備点検も毎年定期点検している。危機管理マニュアルの作成防災グッズの整備を行っている。概ね適正に管理されていると考ええる。防災グッズ以前に建物の強度は？防災グッズを購入した。連絡網などについては練習外必要。
平均	3.1	3.2			

VII 学生の受け入れ募集

項目	H30評価	R01評価 平均	R01評価 最大	R01評価 最低	所見
①学生募集及び入学選考は、時代の変化、学生の実態に対応したものとなっていたか	3.1	3.3	5	2	※時代の変化:少子化・大学全入等による一般学生の減少。基礎学力・学習適応力の欠如。 土木系・造園林業系の技術者を養成するためには入学選考が必要である。来年度から、多様化した学生に対応するためにカリキュラムを改正している。少子化の影響を受けて来ている。学生数の減少を迎え、本校の経営方針を明らかにした上で、それ相応の学生を集める必要があると考ええる。一般学生減少の要因を真摯に考察し改善のための行動を起こす必要がある。リーディングテストも導入すべき。CMや新聞広告等も検討すべきでは？少子化・大学全入に鑑みると本校の条件は厳しい。
②広報活動（体験入学を含む）の内容、方法、実施時期等は適切であったか	3	3.3	5	2	適切であった。概ね適切であった。生徒数を確保するためにはもっと本校のPRを行う必要があると考ええる。
③学納金は妥当なものとなっているか	3	3.4	5	2	妥当である。妥当である。妥当と考ええる。安くしすぎ。
平均	3	3.4			

VIII 財務

項目	H30評価	R01評価 平均	R01評価 最大	R01評価 最低	所見
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.1	3.3	5	2	※財務の情報:本校HPに公開されておりますのでご参照ください。 安定しているから道内で唯一の土木系専門学校として生き残っている。さらなる充実が必要と考ええる。詳細は不明（掌握していない）。少子化の影響を受けている。
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	3.3	5	2	妥当である。現状では妥当とは思えない。あまり関知できていない。

③財務についての会計監査が適正に行われているか	3.6	3.8	5	3	適正である。不正の情報は一度も聞いたことがない。適正。適正に行われていると思う。
平均	3.2	3.5			

IX 法令等の遵守

項目	H30評価	R01評価 平均	R01評価 最大	R01評価 最低	所見
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.6	4.0	5	1	・専修学校設置基準：文科省HP内、同名で検索できます。適正な運営がなされている。適正に運営されている。適正に運営されていると考える。いかなる理由があれば虚偽の報告はいかなものか。
②個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	3.2	3.3	5	2	保護されている。個人情報は守られている。概ね適正に処理されていると考える。性善説に立脚した対応に終始。暗号化等を検討も必要。取り決めが出来てほしい。
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.3	3.3	5	2	個人として改善できるところは実施している。問題点があれば逐一行っている。
④自己評価結果を公開しているか	3.7	4.3	5	4	・自己評価結果：本校HPに公開されておりますのでご参照ください。公開されている。
平均	3.5	3.8			

X 教育活動全体及び学生の実態について、昨年度と比較して良かった点・悪かった点

・合同授業が多く、大人数による弊害？欠席・居眠り・私語が増加しているのではないかと。〈良かった点〉①測量士補、校内実力（学力）試験は全員合格した。②2級土木施工管理技術検定は受験者全員合格した。③昨年度より就職決定時期が早まった。④昨年度中止になった学園祭経験がなかった学生。⑤委員長が全体を把握し成功裏に無事終了した。⑥測量実習において休憩なしで行ったが学生から苦情はなく班ごと分野別に外業を行っていた。〈悪かった点〉①入学選考を実施しても学力不振者、休学者がいた。②学生と教員の間に世代間の差が出てきている。

・（価値観 社会の常識等）指示系統が一元化され、うまく動いていた。評価の低い部分はかなり改善されているものと考えられる。しかし、いまだ意識の低いところがあるので、そのあたりを教員全員共有して改善すれば、良い学校になると思われる。

・1授業に集中できない学生が多くなっているように思える。原因は、①自宅でのスマホゲームへの熱中（夜更かし）②これまで机に向かい集中して勉強した経験がない。などがあげられるが、様々な機会に指導しているが改善が見られない。（自宅に戻れば注意する人が誰もいない）スマホの使用などをもっと厳しく制限する必要があるのではと考える。

・成績処理、体験入学の報告文、そしてこの調査…。手書き文章を係が再入力するのではなく、職員各自が直接入力し、係が集約しデータベース化し活用するシステムに変えられないでしょうか。体験入学で得た情報を高校または企業とより有効に共有。さらに進路相談員が得た情報と合わせ活用することで、本校内での確実な学生応募に結びつけるためのシステムの構築を検討できないでしょうか。

・土木施工管理科の学習意欲の向上が見られ、大変良かった。

・授業日の連続性がない（検定の実施時期とも合わない）日数（コマ数）合わせの組み方で、学習効果が損なわれている。検定の可否と前期中間後期の評価タイミングが合わない。定期考査を行う時間が取れないため、評価が普段の態度等の主観的なものとなる。屋外での実習に引きずられ、授業変更が多い。生徒への連絡不徹底で授業がスポイルされることが多かった。情報の授業時数が多い。生徒の能力に見合う時数となっていない。教室のバッテリーが多い。しっかりとした授業時数、時間割を監督する仕組みがない。非常勤にこのアンケートは意味がない気がする。

・公務員に多数合格できた。苦しい時間割変更。資格に多数合格できた。

・一般学生は減少し企業委託生が増加しています。企業委託生は資格取得、技術習得を目的として入学していると感じます。今年度は学校行事も滞りなく実施できそうです。イベントが豊富なのは良いですが、本来の目的の学業を減じてまでの実施には疑問を感じます。学生の中には学業優先を望む声もあります。職員の見直しが必要ではないかと思えます。職員の入れ替わりもあり、不慣れな職員にとって両立は負担になると感じます。学校行事も、取捨選択や内容の見直しが必要ではないかと思えます。